

わがまちの「ちよつといい話」

NO. 39

「道徳のまち笠松」推進会議
(笠松町教育文化課)

○銀河系笠松駅

この冬、十二月下旬から一ヶ月間、笠松駅前には夕刻になると色とりどりのイルミネーションに彩られた。これは笠松駅始まって以来のこと。ライ

トアップされた駅前ロータリーのモニュメントには「銀河系笠松駅」と表示されている。その南東下方から、銀河鉄道列車が緩やかなカーブを描きながらモニュメントを登りつめる。列車の窓には別れを告げ、手を振る人々のシルエットが映し出される。彩りの中に幻想的な風景が……。

○夢と希望

これは岐阜工業高等学校電子科三年生の七人の学生さんが、電球約一万七千個を使って制作してくれた。三十年ほど前、当時を風靡した「銀河鉄道

岐工生のみなさん ありがとう 駅前イルミネーション！



スリーナイン」からイメージされたもの。モニュメントを登りつめた列車は、まさに銀河系笠松駅から地球外惑星に向け発車しようとしている。銀河鉄道スリーナイン主題歌の一節に「汽車は闇をぬけて 光の海へ 夢がちらばる無限の宇宙さ」とある。希望に向けたスタートの地、それが笠松駅。

○岐工生の思い！

そんなイメージが湧きだす。名鉄笠松駅は、岐阜工業高校の生徒にとって通学にかかせない場所。高校三年間お世話になった名鉄笠松駅を自分たちのイルミネーションで飾りたい。そして、駅や町の人々に「ありがとう」「の心を伝えたい。駅の壁には、「がんばってください」、「今日もお疲れさま」の文字が闇に浮かび上がり、駅を乗降する人々の目にとまる。駅を利用する人へ

の温かい思いやりが伝わってくる。

○「のこり」

このイルミネーションは、この駅を行き交う人々に励ましと温かな心を与えてくれた。町民の心に深く刻まれたことだろう。この取り組み以外にも岐阜工業高等学校の生徒さんが学習や部活動の傍ら、町内を清掃したり、花壇の世話をしたりして、この町に生活する一人として取り組んでいる。そんな岐工生諸君に心からエールを送りたい。



銀河系笠松駅前のモニュメントに登りつめようとする銀河鉄道の模型